



第54号
 新城市民病院総務課
 新城市字北畑32-1
 Tel 0536-23-7852
 Fax 0536-22-2850

整形外科医着任

整形外科診療部長に藤岡克博医師が着任しました。



整形外科診療部長
藤岡 克博

平成23年5月23日より勤務しております藤岡克博と申します。平成元年卒業で、専門は脊椎外科です。

保存療法のみならず手術も可能です。脊椎以外の疾患・外傷も受け入れ可能です。

当院を受診された患者さんは、非常勤の先生方や院内のスタッフと協力して可能な限り当院にて治療をと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

今年も研修医を受け入れます

当院では昨年に引き続き、研修医の受け入れを行っております。昨年は8名の研修医を受け入れましたが、今年には18名を予定しています。



毎月1〜3名の医師が県内の他の病院から来て、地域医療を学びます。5月には豊橋市民病院の和田幸也先生が、2週間外来や入院、訪問看護、訪問リハビリなどの臨床研修を受けました。

研修は指導医師の監督のもとに行います。患者様にご迷惑をおかけしないよう務めますのでご理解、ご協力をお願いいたします。



総合診療科外来
和田幸也医師

病室テレビが変わります

テレビ放送の完全地デジ化を前に病室テレビを入れ替えます。5月30日、31日の作業後は、全ての病室で地デジ放送が視聴可能になります。

テレビの入替えに伴う変更点

- ・視聴時間の増加
(10円で6分→7分)
- ・DVDプレイヤーの設置
(ソフトの無料貸出あります)
- ・冷蔵庫の1日の利用料の変更
(200円→150円)

注意 ※古いテレビカードは使えませんので、1階の精算機で精算を行ってください。
 ※新しいテレビカードは購入時100円の保証金が自動的に引かれます。そのお金は精算時に返金されますので、使い終わった後は必ず精算機を通してください。

食中毒に気を付けて



食中毒とは悪性の細菌・ウイルス等が付着した食品を食べることによっておこる健康被害をいいます。主な症状としては、急性胃腸炎（下痢、腹痛、おう吐）で、発熱や倦怠感があります。

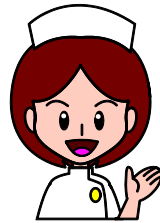
食中毒を予防するためにも、次のことに気を付け、健康管理をしましょう。

食中毒予防の3原則

① 付けない

食中毒を起こす細菌やウイルスは、魚や肉、野菜などの素材に付いていることがあります。この微生物が手や調理器具を介して他の食品を汚染し、食中毒の原因となることが多くあります。汚染させないためには魚・肉用の調理器具と野菜用の調理器具を使い分けると効果的です。

また、魚や肉類を調理したあとは手や調理器具を必ず洗うように心がけましょう。

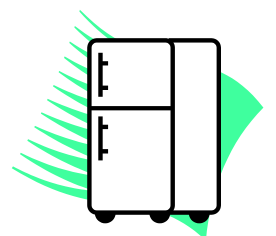


② 増やさない

冷蔵庫で保存しておかなければいけない食品は早めに冷蔵庫に入れましょう。室温で放置していると食中毒を引き起こす細菌・ウイルスが急速に増殖してしまいます。4〜10℃の状態でも保存することで細菌・ウイルスの増殖を抑えることができます。



また、解凍にも注意が必要です。解凍を室温で行うと中心部が解凍されるまでの時間、表面は室温で放置しているのと同じため、表面は細菌・ウイルスが増殖してしまいます。解凍は冷蔵庫の中で行うか、電子レンジを使いましょう。



③ やっつける

食品の中心部を75℃以上の状態にして1分間は加熱してください。食中毒を引き起こす細菌・ウイルスのほとんどが熱に弱く、食品に付いていても加熱を十分にすれば殺すことができます。しかし、加熱が不十分だと食中毒が起こる可能性があるので注意が必要です。



食中毒になったら

食中毒では、主に下痢やおう吐を引き起こすため、体内の水分が不足し脱水症状を起こしやすい状態になります。そのため水分補給と適当な塩分、糖分などの補給をしてください。スポーツドリンクなどを活用するのも一つの方法です。



症状が軽度であれば、一般には1〜2日で症状は軽減し、自然に治ります。激しい下痢、血便、嘔吐、発熱などの症状を伴うときは、病院を受診してください。お子さんや高齢者の方は重症化する場合もあるので医師の診察を受けることが大切です。



家族に食中毒をうつさないためには

下痢、嘔吐物などを処理するときは、ゴム手袋を使用して、処理後はよく手を洗いましょう。また、洗濯物は一緒に洗わない、食中毒にかかった方はお風呂は最後に入るなどして感染するのを防ぎましょう。